

2026 年合格目標 明治大学理系公務員講座 ガイダンス

担当 講座担任 山下

1 公務員の仕事と魅力

①「安定」・・・皆さんの公務員のイメージ？



なぜ公務員は安定しているんでしょう？



安定していないとできない仕事を担っているから・・・。

②マネタイズ(カネになるかどうか)を考えなくてよい。

③国家から地方まで活躍できるフィールドの選択ができる。

国家公務員：仕事のスケールが大きい。

⇒日本全体を視野にとらえ、日本全体を動かす、日本全体に影響を与えるような国家単位の仕事に携わることができる。

地方公務員：地域密着型の仕事ができる。

⇒地域の抱える課題に応じて、地域に密着した存在として、時には住民と協働しながらまちづくりや行政サービスを実現する。

たとえば…**国家総合職**

※**国家総合職の仕事の魅力**

我が国にプラスをもたらす。

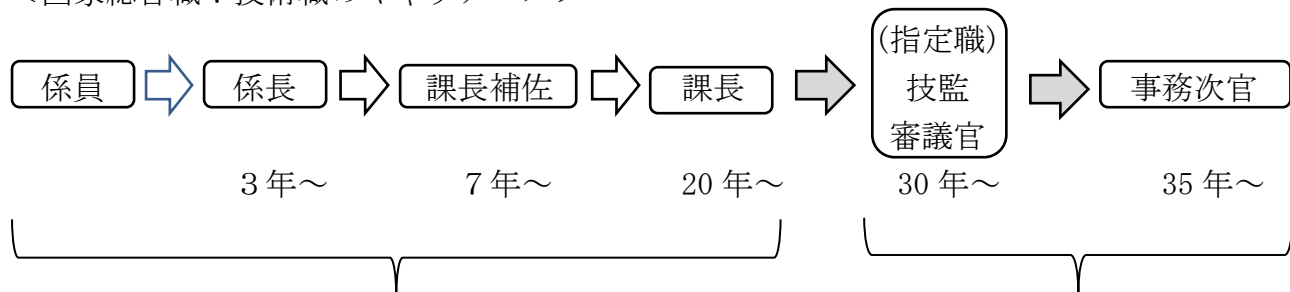
我が国のマイナスを減らす。

これからの我が国をデザインする仕事。

＝夢を持ってする仕事。

具体的にはどのような仕事をするのか？

＜国家総合職：技術職のキャリアパス＞



政策・企画の立案、法律の制定・改正、業界指導

⇒地方に行くと言現場での指導など・・・。

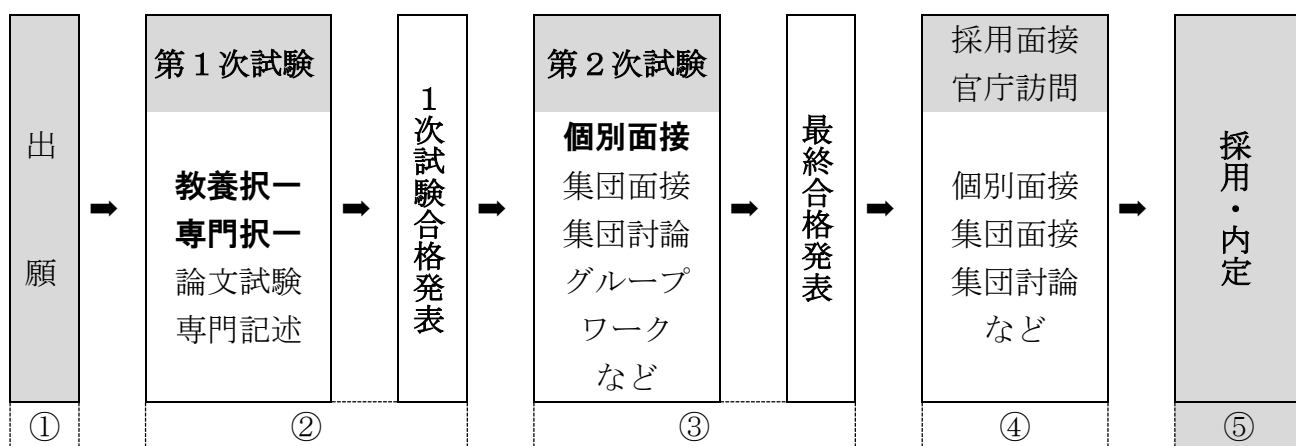
外国・政治家・他省との交渉

たとえば…農林水産省：農芸化学区分

平成6年入省：係員⇒富山県出向(3年目)⇒本省総括係長(5年目)⇒本省計画係長(8年目)⇒関東農政局地質官(女性初の地質官：9年目)⇒本省課長補佐(11年目)⇒本省生産専門官(13年目)⇒本省消費者情報官補佐(20年目)⇒北海道農政事務所部長(23年目)⇒本省地域対策官＝課長級(26年目)

2 技術系公務員試験の内容

①試験の流れ



※国家総合職試験では、論文試験(政策論文試験)・専門試験(記述式)が2次試験で課されます。

①出願（２月頃～順次）

１～５月頃にその年の試験案内が、自治体・職種ごとにＨＰにて公表され、２月から受験申込受付がスタートします。

近年、インターネットによる受験申込受付が主流です。

②第１次試験（主に筆記試験）

筆記試験として、主に**教養択一(国家系では基礎能力試験)・専門択一・論文試験**が実施されます。専門記述は特別区・東京都・国家総合職(大卒・院卒)・国家一般職(大卒)など、一部試験種のみで実施されます。

③第２次試験（主に人物試験）

第１次試験合格者を対象に、**人物試験として主に個別面接**などが実施され、**志望理由や自己ＰＲ**に関する質問が頻出です。

個別面接はほぼ全ての試験で、集団面接・集団討論・グループワークは、地方上級や市役所などで実施される傾向にあります。

④採用面接／官庁訪問

最終合格者を対象に主に個別面接が実施されており、受験生の**意思確認（国家一般職の官庁訪問は選考）**を行う場です。併願状況や最終合格・内定を得た場合の意向などが問われます。

⑤採用・内定

原則として、翌年の４月１日からの採用です。

※上記は、一般的な公務員試験のモデルケースです。試験実施時期や試験の内容は、自治体・試験種・年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

②区分ごとの試験：土木職、建築職、機械職、化学職、電気・電子・情報職、農業・農学職など

試験種	受験区分																	備考
	土	建	電気・電子	機	化	物	造	衛	環	生	農学・農業	農学工学	水	畜	林学・林業	薬		
	木	築	子	械	学	理	園	生	境	物	業	学	産	産	業	学		
国家総合職（大・院）	工学				B	A	E		E	B	C	D	C		E	B	※デジタル区分もあり	
国家一般職（大卒）	●	●	●	●	●	●					●	●			●			
食品衛生監視員								●										
東京都Ⅰ類B	●	●	●	●				●	●								環境検査＝環境 衛生監視＝衛生	
特別区Ⅰ類 （東京23区）	●	●	●	●	●		●	●									衛生監視（衛生）＝衛生 衛生監視（化学）＝化学	
埼玉県	●	●	●	●	●						●				●			
千葉県	●	●	●	●	●						●		●	●	●			
神奈川県	●	●	●	●	●						●		●		●			
さいたま市	●	●	●	●	●						●							

千	葉	市	●	●	●	●	●		●							●			
横	浜	市	●	●	●	●			●	●	●		●						
川	崎	市	●	●	●	●	●		●										
相	模	原	市	●	●	●	●	●											

※国家総合職(大卒程度・院卒者)の区分は、工学・A(数理科学・物理・地球科学)・B(化学・生物・薬学)・C(農業科学・水産)・D(農業農村工学)・E(森林・自然環境)で分けられる。

③試験の内容

試験種	国家公務員		地方公務員			
	国家総合職 (大・院)	国家一般職 (大卒)	東京都I類B 一般方式	特別区I類 一般方式	地方上級 (県・政令市)	市役所 専門あり
教養択一	●	●	●	●※	●※	●
専門択一	●	●	—	—	●	●
論文			●	●	●	●
専門記述	●※	●	●	●	—	—
面接	●	●	●	●	●	●
集団討論	官庁訪問	官庁訪問	—	—	●	一部あり

※国家総合職の大卒程度試験では、政策論文・専門記述、院卒者試験では政策課題討議・専門記述が課されます。

※地方上級の中には、教養択一が廃止となった自治体もあります(埼玉県・特別区の一部区分・さいたま市・横浜市)

④1次試験

教養択一試験(国家系では基礎能力試験と呼ばれる)

試験種	一般知能分野						一般知識分野													情 報	合 計 出 題 数 (問)	合 計 解 答 数 (問)	解 答 時 間 (分)			
	数的処理			文章理解			人文科学					自然科学				社会科学										
	数 的 推 理	判 断 推 理	空 間 把 握	資 料 解 釈	現 代 文	英 文	古 文	世 界 史	日 本 史	地 理	思 想	文 学 ・ 芸 術	数 学	物 理	化 学	生 物	地 球 学	法 学	政 治					経 済	社 会	時 事
国家総合職(大)	14			10			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	30	30	140
国家総合職(院)	14			10			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	30	30	140
国家一般職	14			10			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	30	30	110
特別区Ⅰ類※	5	6	4	4	5	4	—	1	1	1	1	—	—	2	2	2	2	2	1	1	—	4	—	48	40	120
東京都Ⅰ類B 環境検査	5	3	4	4	4	4	—	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	5	—	40	40	130
東京都Ⅰ類B 上記以外	7	3	5	4	4	4	—	1	—	1	—	1	—	2	2	2	2	1	1	1	—	3	—	44	40	150
地方上級 全国型	5	6	5	1	3	5	—	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	4	1	2	5	—	50	50	150	
地方上級 関東型	5	3	3	1	3	5	—	3	3	3	—	—	1	1	2	2	1	4	1	3	6	—	50	40	120	
地方上級 中部北陸型	5	6	5	1	3	5	—	2	3	3	—	—	1	1	2	2	1	3	1	2	4	—	50	50	150	

※特別区は特別区I類(一般方式)、東京都は東京都I類B(行政 一般方式)の情報です。

※特別区では、衛生監視(衛生・化学ともに)では教養択一試験が課されません。

⇒60%取れば合格点、50%取れば勝負になります(国家総合職だと、足切りにならないければ合格点という区分もあります)。

⇒出題数の多い、**数的処理・文章理解で点を固める**ことが重要です。

専門試験

国家総合職(専門択一)

区分	出題分野・科目
工 学	155 題出題 40 題解答 必須科目…工学に関する基礎〔数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等〕の計 20 題 選択科目…次の 27 科目（各 5 題）から 4 科目、5 科目又は 6 科目を選択し、その 20～30 題のうちから任意の計 20 題解答 1. 技術論〔技術の歴史、技術と社会との関連等〕, 2. 基礎化学, 3. 工学基礎実験, 4. 情報基礎, 5. 電磁気学, 6. 電気工学, 7. 材料力学〔機械系〕, 8. 流体力学〔機械系〕, 9. 構造力学（土木）・土木材料・土木施工, 10. 土質力学・水理学, 11. 環境工学（土木）・衛生工学, 12. 構造力学（建築）, 13. 建築構造・建築材料・建築施工, 14. 計測工学・制御工学, 15. 電子工学, 16. 通信工学, 17. 機械力学, 18. 熱力学・熱機関〔機械系〕, 19. 土木計画, 20. 建築計画・建築法規・建築設備, 21. 建築史・都市計画, 22. 材料工学（材料科学）〔材料物理, 材料化学〕, 23. 材料工学（金属材料・無機材料）, 24. 原子力工学（原子核・放射線）, 25. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）, 26. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性, 船体抵抗・推進, 船体運動〕, 27. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動, 船舶設計・艀装〕 （注）8（流体力学〔機械系〕）と 10（土質力学・水理学）の同時選択不可。 7（材料力学〔機械系〕）と 9（構造力学（土木）・土木材料・土木施工）と 12（構造力学（建築））の 3 科目のうち、2 科目又は 3 科目の同時選択不可。
数理科学 物理 地球科学	115 題出題 40 題解答 I 部(必答) 5 題：基礎数学・情報数学 II 部 10 題：次の選択 A, B（各 10 題）から 一つを選択 選択 A…数理科学系, 線形代数, 解析, 確率・統計 選択 B…物理・地球科学系 基礎物理、地球科学 III 部 25 題：次の 17 科目 90 題のうち 任意の計 25 題解答 集合・位相, 代数, 幾何, 解析, 確率・統計, 情報理論, 計算機数学, 離散数学, 数値計算, 数学モデル, オペレーションズ・リサーチ, 経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）, 物理数学, 古典物理学, 現代物理学（物性物理学を含む。），地球物理学, 地質学

デジタル	63 題出題 40 題解答 必須科目…基礎数学⑩, 情報基礎⑦, 情報と社会③の計 20 題⇒丸数字が出題数 選択必須科目 次の 17 題から 10 題以上を選択解答 …計算機科学③, 情報工学(ハードウェア)⑤, 情報工学(ソフトウェア)⑤, 情報技術④ 選択科目 選択必須科目との合計解答数が 20 題となるように、次の 26 題から選択解答。 線形代数, 解析, 確率・統計⑧, 数学モデル, オペレーションズリサーチ, 経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)⑤, 制御工学②, 電磁気学②, 電気工学③, 電子工学③, 通信工学③
化学 生物 薬学	106 題中 40 題解答 必須科目…基礎数学, 基礎物理, 基礎化学, 基礎生物学の計 10 題 選択科目 次の 16 科目(各 6 題)から 5 科目又は 6 科目を選択し、その 30～36 題のうちから 任意の計 30 題解答 1. 数学・物理, 2. 基礎物理化学・基礎無機化学, 3. 物理化学・無機化学, 4. 有機化学, 5. 工業化学・化学工学, 6. 分析化学・薬化学, 7. 薬理学, 8. 薬剤学・衛生化学, 9. 食品学, 10. 土壤肥科学・環境科学・農薬, 11. 生化学・分子生物学, 12. 応用微生物学・生物工学, 13. 発生生物学・生理学, 14. 細胞生物学(形態学を含む。)・放射線生物学, 15. 遺伝学・進化学, 16. 生態学(動物行動学を含む。)・系統分類学
農業科学 水産	140 題出題 40 題解答 必須科目…Ⅰ部 5 題: 生物資源に関する基礎 [生物資源科学、食料事情、統計学] Ⅱ部 10 題: 次の選択 A, B (各 10 題) から 一つを選択 選択 A 農業科学系: 農業科学に関する基礎 [農業・畜産業、生物学に関する基礎] 選択 B 水産系: 水産学に関する基礎 選択科目…Ⅲ部 25 題 次の 23 科目(各 5 題)から 5 科目を選択し、計 25 題解答 1. 作物学, 2. 園芸学, 3. 育種遺伝学, 4. 植物病理学, 5. 昆虫学, 6. 土壤肥科学・植物生理学, 7. 経済学, 8. 農業資源経済学(基礎), 9. 農業資源経済学(応用), 10. 農業経営学, 11. 食料政策・農業政策・農業関係法律, 12. 家畜育種学, 13. 家畜繁殖学, 14. 家畜生理学, 15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学, 16. 畜産一般 [畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通], 17. 水産経済学・水産経営学, 18. 漁政, 19. 漁業学・水産資源学, 20. 水産海洋学・水産環境保全, 21. 水産生物学・増養殖学, 22. 水産化学・水産利用学, 23. 水産一般 [水産物生産・水産物加工・水産物流通]

農業農村工学	76 題出題 40 題解答 必須科目…農業農村工学に関する基礎〔農業・農村一般③, 農業生産・環境一般②, 数学・情報処理③, 農業農村工学一般⑥, 応用力学④, 水理学④〕の計 22 題⇒丸数字が出題数 選択科目 次の 9 科目（各 6 題）から 3 科目を選択し、計 18 題解答 1. 設計・施工, 2. 農業水利学, 3. 土地改良, 4. 農村計画学・公共経済学, 5. 農村環境整備, 機械基礎工学〔機械力学及び機械要素・設計〕, 6. 生物生産機械工学, 7. 食料機械工学・生物生産施設工学, 8. 環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕
森林 自然環境	121 題出題 40 題解答 必須科目…森林・自然環境に関する基礎〔森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④〕の計 13 題⇒丸数字が出題数 選択科目 次の 12 科目（各 9 題）から 3 科目を選択し、計 27 題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、4. 砂防学基礎, 5. 砂防工学, 6. 流域管理, 7. 造園学原論・造園材料, 8. 造園計画（自然公園）〔自然環境保全を含む。〕, 9. 造園計画（都市公園）〔都市計画を含む。〕, 10. 木材特性・木質構造〔木材需給を含む。〕, 11. 木材加工・材質改良, 12. 木材成分利用（特用林産を含む。）

土木職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒）	択一式(40 題必須解答)／180 分 工学に関する基礎⑩、構造力学(土木)・水理学・土質力学・測量⑪、土木材料・土木設計・土木施工③、土木計画④、環境工学(土木)・衛生工学② 記述式(1 題必須解答) 土木工学に関連する領域
地方上級 県・政令指定都市	択一式(40 題必須解答)／120 分 数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、材料・施工④、都市計画②、測量②、土木計画⑥ * 総合土木: 上記に加え…農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物 * 農業土木: 上記に加え…土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般
東京都 I 類 B	記述式(5 題中 3 題選択解答)／120 分 構造力学、水理学、土質工学、土木材料、測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢

特 別 区 I 類	記述式・語群選択式(6 題中 4 題選択解答)／90 分 土木造園(土木):応用力学、土質工学、測量、土木施工、道路・橋梁、都市計画 土木造園(造園):造園史、造園計画、造園植物、植栽・土壌肥科学、生態学、造園施工・管理
-----------	--

建築職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒）	択一式（ 33 題必須解答 ）／120 分 工学に関する基礎⑩、構造力学（建築）・建築構造④、建築材料・建築施工②、環境工学（建築）・建築設備③、建築士・建築計画・建築法規・都市計画④ 記述式（ 1 題必須解答 ） 建築設計製図
地 方 上 級 県・政令指定都市	択一式（ 40 題必須解答 ）／120 分 数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、建築構造④、建築史②、建築計画⑤、都市計画③、環境原論④、建築設備②、建築施工③
東 京 都 I 類 B	記述式（5 題中 3 題選択解答）／120 分 建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築設備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
特 別 区 I 類	記述式・語群選択式（6 題中 4 題選択解答）／90 分 建築史、建築計画、都市計画、建築設備、建築構造、建築施工、建築法規

機械職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒）	択一式（ 40 題必須解答 ）／180 分 工学に関する基礎⑩、材料力学④、機械力学④、流体力学④、熱工学④、機械設計・機械材料・機械工作④ 記述式（ 1 題必須解答 ） 機械に関連する領域
地 方 上 級 県・政令指定都市	択一式（ 40 題必須解答 ）／120 分 数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
東 京 都 I 類 B	記述式（5 題中 3 題選択解答）／120 分 物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢

特 別 区 I 類	記述式・語群選択式（6 題中 4 題選択解答）／90 分 物理、材料力学、熱力学・熱機関、流体力学・流体機器、計測・制御、機械材料
-----------	--

電気職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒） デジタル・電気・電子	択一式（44 題中 40 題解答）／180 分 必須問題 ：工学に関する基礎⑩、情報・通信工学(理論)⑧、電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧ 選択問題 (次の選択 A, B から一つを選択) A：情報工学(プログラミング)④ B：電子工学・電子回路④ 記述式（1 題 必須解答 ） 情報工学・通信・電気・電子に関連する領域
地 方 上 級 県・政令指定都市	択一式（ 40 題必須解答 ）／120 分 数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
東 京 都 I 類 B	記述式（5 題中 3 題 選択解答 ）／120 分 数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢
特 別 区 I 類	記述式・語群選択式（6 題中 4 題 選択解答 ）／90 分 電気・電子回路、電気磁気学、材料・制御（電機応用含む）、電気機器、発送配電、情報・通信

情報工学職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒）	⇒電気職参照
東 京 都 I 類 B I C T（新方式）	教養は SPI3(GAT-U) で実施 情報通信技術(テクノロジーに関するもの、マネジメントに関するもの、ストラテジに関するもの)、社会事情
特 別 区 I 類	実施なし(事務職として採用)

化学職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒）	択一式（ 44 題中 40 題解答 ）／180 分 必須 ：数学・物理⑨、物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑦ 選択 ：生物化学④、化学工学④の 8 題から 4 題選択 記述式（ 1 題必須解答 ） 化学に関連する領域
地方上級 県・政令指定都市	択一式（ 40 題必須解答 ）／120 分 数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
東京都 I 類 B （環境検査）	記述式（ 5 題中 3 題選択解答 ）／120 分 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、応用化学、生化学、生物学概論、生態学、微生物学
特別区 I 類 （衛生監視（化学））	記述式・語群選択式（ 6 題中 4 題選択解答 ）／90 分 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生化学、応用化学

農学・農業職

試験種	出題分野・科目
国家一般職（大卒） 農学	択一式（ 40 題必須解答 ）／180 分 栽培学汎論⑦、作物学⑦、園芸学⑦、育種遺伝学③、植物病理学③、昆虫学③、土壤肥科学・植物生理学④、畜産一般③、農業経済一般③ 記述式（ 1 題必須解答 ） 農学に関連する領域
地方上級 県・政令指定都市	択一式（ 40 題必須解答 ）／120 分 栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
東京都 I 類 B	実施なし ※産業労働局が、「農業技術」区分として、別途に採用する。
特別区 I 類	実施なし

1 次試験の合格点

例：2024 年国家総合職

・大卒程度試験(基礎能力試験：平均点 15.297・基準点 9・網掛けは基礎能力試験 50%)

デジタル区分(専門平均 18.356)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点に少しプラスで合格。

工学区分(専門平均点 16.605)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点ギリギリでなければ合格。

数理科学・物理・地球科学区分(専門平均点 18.747)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	27	26	25	24	23	22	21	20	19	19	18

⇒この区分は、基礎 50%・専門 55%の得点が必要。

化学・生物・薬学区分(専門平均点 14.863)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	25
専門	27	26	25	24	24	23	22	21	20	20	19	15

⇒この区分でも、基礎 50%・専門 60%の得点が必要。

農業科学・水産区分(専門平均点 18.846)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点未満にならないで合格。

農業農村工学区分(専門平均点 17.170)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点ギリギリでなければ合格。

森林・自然環境区分(専門平均点 19.961)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	25	24	23	22	21	20	20	19	18	17	16

⇒この区分もけっこう点を取らないとダメだが、平均点を取れば合格。

※院卒者試験（基礎能力試験：平均点 18.191・基準点 9・網掛けは基礎能力試験 50%）

デジタル区分(専門平均 22.109)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点に少しプラスで合格。

工学区分(専門平均点 19.387)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点ギリギリでなければ合格。

数理学・物理・地球科学区分(専門平均点 18.747)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	16	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12

⇒大卒程度と異なり、基準点に少しプラスで合格。

化学・生物・薬学区分(専門平均点 21.934)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒大卒程度と異なり、基準点に少しプラスで合格。

農業科学・水産区分(専門平均点 21.019)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒基準点ギリギリでなければ合格。

農業農村工学区分(専門平均点 17.846)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	16	15	15	14	13	13	12	12	12	12	12

⇒大卒程度よりも難しいが、平均点を取れば悠々の合格。

森林・自然環境区分(専門平均点 23.292)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

⇒大卒程度よりも低く、基準点ギリギリでなければ合格。



基準点未満にならないければほとんど合格できる(化学・生物・薬学を除く)。

☆専門試験では⇒まずは、学部 3 年までに履修した科目で、試験に出題されるものをしっかりと勉強しておくこと

+

工学区分では、工学の基礎(20 点分)

農業科学区分では、必須解答Ⅱの農学の基礎(10 点分)がカギとなる

⇒講座の Web 講義でしっかりと学ぼう！

ここからは国家総合職試験について特化して書いてあります。

①**専門記述**(大卒程度・院卒者ともに同じ出題内容：2025 年は 4 月 13 日)

[工学区分]

選択問題 1 題又は 2 題。

ア. 1 (建築設計) 又は 2 (都市設計) を選択する場合は、その 1 科目 (1 題) のみを選択解答。

イ. ア以外の場合は、2 科目から各 1 題、計 2 題を選択解答。

(注) 2 題以上出題される科目にあっては、そのうち 1 題のみ選択可。

次の 27 科目から出題⇒丸数字が出題数。

1. 建築設計①, 2. 都市設計①, 3. 計測工学①, 4. 制御工学②, 5. 電磁気学・電気回路①, 6. 電気機器①, 7. 電力工学①, 8. 電子工学①, 9. 通信工学①, 10. 信頼性工学①, 11. 材料力学 [機械系] ①, 12. 機械力学①, 13. 流体力学 [機械系] ①, 14. 熱力学・熱機関 [機械系] ①, 15. 航空工学①, 16. 構造力学 (土木) ①, 17. 土質力学①, 18. 水理学①, 19. 土木計画③, 20. 環境工学 (土木)・衛生工学②, 21. 材料工学 (材料科学) [材料物理, 材料化学] ①～②, 22. 材料工学 (金属材料) ①～②, 23. 材料工学 (無機材料) ①, 24. 原子力工学 (原子核・放射線) ①, 25. 原子力工学 (原子炉・核燃料サイクル) ①～②, 26. 船舶海洋工学 (流体) [船体復原性, 船体抵抗・推進, 船体運動] ①～②, 27. 船舶海洋工学 (構造) [船体強度・振動, 船舶設計・艤装] ①～②

(注 1) 11 (材料力学 [機械系]) と 16 (構造力学 (土木)) の同時選択不可。

13 (流体力学 [機械系]) と 18 (水理学) の同時選択不可。

19 (土木計画) と 20 (環境工学 (土木)・衛生工学) の同時選択不可。

(注 2) 1 (建築設計) 及び 2 (都市設計) は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン (図面及び論述) の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。

他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術な どの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。

[デジタル区分]

次の 6 題から任意の 2 題選択

計算機科学①, 情報工学 (ハードウェア)②, 情報工学 (ソフトウェア)②, 情報技術①

※同じ科目から 2 題選択可。

[数理科学・物理・地球科学区分]

次の科目から 15 題出題、任意の 2 題選択。

代数, 幾何, 解析, 確率・統計⑤, 情報科学①, 数学モデル①, 経営工学 (経営数学・生産管理・品質管理) ①古典物理学, 現代物理学 (物性物理学を含む。) ③, 地球物理学②, 地質学② (注) 同じ科目から 2 題選択可。

[化学・生物・薬学区分]

次の科目から 19 題出題、任意の 2 題選択⇒丸数字が出題数。

物理化学②, 無機化学①, 有機化学①, 分析化学①, 化学工学①, 薬化学①, 薬理学①, 薬剤学①, 食品学①, 土壌肥科学・農薬①, 生化学①, 分子生物学・生物工学①, 応用微生物学①, 発生生物学①, 生理学①, 細胞生物学（形態学を含む。）①, 遺伝学①, 生態学（動物行動学を含む。）① （注）同じ科目から 2 題選択可。

[農業科学・水産区分]

次の 20 科目（各 1 題）から 2 科目選択。

1. 作物学, 2. 園芸学, 3. 育種遺伝学, 4. 植物病理学, 5. 昆虫学, 6. 農業資源経済学, 7. 農業経営学, 8. 食料政策・農業政策, 9. 家畜育種学, 10. 家畜繁殖学, 11. 家畜生理学, 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学, 13. 漁業学, 14. 水産資源学, 15. 水産海洋学, 16. 水産環境保全, 17. 水産生物学, 18. 増養殖学, 19. 水産化学, 20. 水産利用学

[農業農村工学区分]

次の 9 科目（各 1 題）から 2 科目選択。

1. 設計・施工, 2. 農業水利学, 3. 土地改良, 4. 農村計画学, 5. 農村環境整備, 6. 公共経済学, 7. 生物生産機械工学, 8. 食料機械工学・生物生産施設工学, 9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]

[森林・自然環境区分]

次の 4 科目（各 3 題）から 1 科目を選択し、任意の 2 題解答。

1. 森林科学に関する基礎, 2. 国土保全に関する基礎, 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎, 4. 木材等林産物に関する基礎

⇒記述試験についても、ホームルームの中で指導していきます。

政策論文試験（記述式 2 時間 1 題）：配点 2 / 15⇒大卒程度試験で課される。

…政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力。及び思考力についての筆記試験

⇒政策論文についても、動画受講以外に、**ホームルームで指導＋添削**をしていきます。

②**人物試験**（2025 年は㊦ 4 月 21 日～5 月 2 日・㊧ 5 月 7 日～5 月 16 日）：配点 3 / 15

…人柄, 対人的能力などについての個別面接。

⇒面接カードに従って実施される（約 20 分）。

② 政策課題討議試験：配点 2 / 15 ⇒ 院卒者試験では、政策論文試験に代えてこの試験が実施される。

＝課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験(課題に関する資料の中に英文によるものも含む)。

⇒ 6 人 1 組のグループを基本として実施される。

⇒ もちろん、政策課題討議についても指導します。

⑤ 2024 年の試験実施状況

	区分	受験者数	1 次合格者数	最終合格者数	採用予定数	倍率
大卒	デジタル	101	88	35	25	2.9
	工学	651	522	260	85	2.5
	数理科学他	99	49	26	5	3.8
	生物他	241	57	40	15	6.0
	農業科学	286	249	151	40	1.9
	農村工学	112	87	60	30	1.9
	森林	154	81	47	25	3.3
院卒	デジタル	46	46	26	25	1.8
	工学	212	182	127	95	1.7
	数理科学他	106	104	58	20	1.8
	生物他	174	156	88	40	2.0
	農業科学	104	96	68	35	1.5
	農村工学	13	11	9	5	1.4
	森林	72	70	53	25	1.4

※英語試験の活用

	TOEFL iBT®	TOEIC®	IELTS	英検
15 点加算	65 以上	600 以上	5.5 以上	—
25 点加算	80 以上	730 以上	6.5 以上	準 1 級以上

上記の表に従って、最終合格判定時に得点加算がなされる。とはいえ、この得点はそれほど大きいものではなく、合否判定ラインの総得点(2023 年試験だと大卒 368～603 点、院卒 352～506 点)の一部にしかあたらない。

※官庁訪問：内々定への最終関門

開始…2025 年は 6 月 11 日開始⇒**4 クール制で実施**(最終日は 6 月 23 日・内々定解禁は同日 17:00～)

期間…開始日から 1 週間＝第 1・第 2 クール

⇒**同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可**

次の 2 日間＝第 3 クール

⇒**同一省庁に 2 日連続して訪問不可**

最後の 1 日＝第 4 クール

⇒**一つの省庁のみ**

月 日	6/11	6/12	6/13	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/23
	第 1 クール			第 2 クール			第 3		第 4
A	○	×	×	○	×	×	○	×	○
B	×	○	×	×	○	×	×	×	×
C	×	×	○	×	×	○	×	×	×

※何をするか…原課(政策を作っているところ)・人事を含め様々な人と面接(面談に近いものもある)して、**その省庁のカラーにあっているかどうかを判断される**

※この官庁訪問をクリアしないと、就職できない

	工学	化学・生物・薬学	農業科学	農林農村工学
大卒程度	83/294⇒ 3.54 倍	10/32⇒ 3.20 倍	41/116⇒ 2.83 倍	15/55⇒ 3.67 倍
院卒者	93/158⇒ 1.70 倍	33/84⇒ 2.55 倍	23/83⇒ 3.61 倍	5/11⇒ 2.20 倍

分母は 2023 年最終合格者数・分子は 2024 年採用者数※

※2025 年 4 月採用者は未発表

3. この講座の特徴

①重要科目の特別収録講義を実施！

②わたくし山下が責任を持って個別指導します。

＝カウンセリングの実施・面接指導・官庁訪問指導

⇒カウンセリングでは、**みなさんの特性に応じた学習法**を提示します。

⇒面接指導・官庁訪問は**皆さんの特性を言語化**して、合格ばかりでなく、
内定を取ることができる指導をします。

③15 回に及ぶホームルームの実施

＝山下のホームルームでは、**国家や地方の行政の当事者としての意識を醸成！**⇒これこそが「人物試験・官庁訪問突破の秘伝」です。皆さんが**公務員として我が国や地方の将来をデザインしていくために必要なもの**を身につけていただきます。

＝山下のホームルームでは、**確実に得点できる文章理解の解法**を伝授！

⇒英語の苦手な方でも得点できる解法です。

④今期から、**秋試験もターゲットにした講座**を展開します。

⇒教養区分合格者からも、理系国家総合職として採用されます。

(特許庁は除く)

・秋試験について

秋試験＝教養区分試験：大学2年秋・3年秋・4年春で受験できる試験

	大学3年生							大学4年生								
月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	4
国家総合職		秋試験		最終合格			春試験		官庁訪問					内定式		入省

☆1次試験(2025年は10月5日)⇒10月22日に1次合格者発表。

基礎能力試験Ⅰ(2時間 24問)・・・文章理解10問, 判断推理・数的推理(資料解釈を含む)14問

基礎能力試験Ⅱ(1時間30分 30問)・・・自然科学, 人文科学, 社会科学(時事を含む), 情報。

総合論文試験(4時間 2問)・・・第Ⅰ部は政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの, 第Ⅱ部は具体的な政策課題に関するもの⇒1次試験合格者のみ採点されて, 最終合格判定の材料となる

☆2次試験(2025年は11月22日または29日に企画提案試験・23日または30日に政策課題討議試験＋人物試験)⇒12月18日に最終合格者発表。

企画提案試験・・・ある課題についてプレゼンテーションシートを作成(2時間), これについてのプレゼンテーション及び質疑応答を行う

政策課題討議試験・・・課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験

人物試験・・・春試験と同じ面接試験

1次合格のためには何点必要か？(2024年試験)

基礎Ⅰ(24点満点・平均点 13.708)	12	13	14	15	16	17	18	19
基礎Ⅱ(30点満点・平均点 12.654)	24	22	20	18	17	15	13	11

⇒1次試験に合格したら、後は山下にお任せあれ！